

愛称『くすのき』センター



命名の理由

長寿である楠木は「健康」の象徴です。そして、とても大きな木でもあることから、たくさんの鳥たちが羽を休める止まり木のように、そこに集う人々にとって「安心」と「安らぎ」の象徴でもあります。

また、この施設を訪れる湖東地域の人々が必ず通る「くすのき通り」に面しています。

命名者：澤田 敬子さん

施設の概要

〔名称〕 彦根市保健・医療複合施設

〔所在地〕 彦根市八坂町1900番地4

〔建設の背景と目的〕

湖東保健医療圏（彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町）において、医師数の減少により、特に産科・小児科に大きな影響が出ています。また、一次救急を担う「彦根休日急病診療所」の設備等が老朽化するとともに、一次救急の対象者が二次救急医療機関を受診されることにより病院の負担が大きくなっています。さらに、高齢化の進展等により在宅医療のニーズが増しています。

こうした背景をふまえ、休日急病診療所施設の充実および一次救急と二次救急の機能分化を図るとともに、在宅医療を推進するため、地域医療再生基金を活用して、地域医療の拠点施設として「彦根市保健・医療複合施設」を建設しました。

〔建物概要〕

延床面積	3,002.4㎡
構造	鉄骨造3階建て
施設概要	1階 休日急病診療所（診察室・待合室・薬局・処置室・検尿室ほか） 保健センター（保健指導室・歯科検診室・視力検査室・診察室・相談室・授乳室ほか） 研修室 ほか
	2階 彦根市健康推進課 栄養指導室 彦根医療福祉推進センター 湖東地域リハビリ推進センター 医療福祉推進ルーム 会議室 相談室 ほか
	3階 彦根医師会 彦根歯科医師会 彦根薬剤師会 滋賀県看護協会第5地区支部 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 彦根地域産業保健センター 会議室 研修室 ほか

〔各施設の概要〕

施設名	概要（機能と役割）
彦根休日急病診療所	<p>休日における急病患者に対し応急的な診療を行います。</p> <p>移転により、診療所専用スペースを確保し、診察・待合スペースを拡充したほか、感染症患者様用待合室を設けるなど、機能の充実を図りました。〔彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町〕</p>
彦根医療福祉推進センター	<p>医療と福祉が一体となって在宅療養生活を支えるための拠点施設です。在宅医療福祉に従事する専門多職種等が交流・連携し、共に研鑽するため、会議室や研修室、サロンスペースを設けました。また、在宅医療福祉に関する活動を行うボランティア団体等が自由に利用し、相互に交流・連携する「医療福祉推進ルーム」も設けました。〔彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町〕</p> <p>【推進センターの主な業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 在宅医療福祉を担う人材の育成（研修等） (2) 在宅医療福祉の連携強化（在宅医療福祉を担う専門多職種による「顔の見える関係づくり」等） (3) 在宅医療機器の貸出し (4) 在宅医療・看取りに関する周知啓発 (5) 在宅医療福祉に関する情報提供・共有 <p>在宅医療福祉を担う主要5団体の事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 彦根医師会 ■ 彦根歯科医師会 ■ 彦根薬剤師会 ■ 滋賀県看護協会第5地区支部 ■ 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会
彦根市保健センター	<p>彦根市(健康推進課)が、市民の健康相談、保健指導、健康診査その他地域保健に関する業務を行います。</p>

〔工事期間〕

平成24年12月20日～平成25年12月13日

〔設計業者〕

株式会社 水原建築設計事務所

〔工事監理〕

株式会社 水原建築設計事務所

〔施工業者〕

建築工事 奥田・伊藤特定建設工事共同企業体

電気設備工事 株式会社 ケイテック

機械設備工事 一圓テクノス株式会社

〔総事業費〕

7億1,137万8千円

1階



2階



3階

